

鮎川及ビ三崎ニ於ケル海水面一年中ノ高低

委員理學博士 大森房吉

本委員ハ震災豫防調査會報告第二十六號ニ於テ本邦大小地震一年中ノ分布ヲ對照シ、同三十號ニ於テ本邦各地ニ於ケル一年中及ビ一日中ノ地震分布ヲ詳論セリ、本編ハ上記報告ノ附録ト見做スベキモノニシテ鮎川及ビ三崎ニテ海水面一年中ノ高低ト氣壓ノ一年中變化トノ比較ニ就キテ記述ス。鮎川ハ陸前國金華山附近ニアリ又三崎ハ相模國三浦郡ニ在リテ共ニ太平洋ニ面ス、鮎川ハ本州東北ヲ震動スル海底地震ノ震原ニ接近スルヲ以テ、之ヲ擇ミ、三崎ハ其ノ參照ニ資センガ爲ニ之ヲ擇ミタリ次表ニ與フルハ本會ノ依頼ニ應ジ、參謀本部陸地測量部ニ於テ、驗潮儀記錄ヨリ調製セラレタルモノニシテ、明治三十五年中鮎川及ビ三崎驗潮儀ノ零分割ヨリ海面ニ至ル距離ノ毎月平均價値ヲ示ス

第一表 明治三十五年
驗潮儀零分割ヨリ海面ニ至ル高サ毎
月平均ノ價値

本表中一ヶ月ニ不足セル日數ハ器械ニ故障ヲ生ジ運轉中止セシニ由ル

月	日數	鮎川 (メートル)	月	日數	三崎 (メートル)
一月	31	3.545	一月	31	3.703
二月	25	3.666	二月	23	3.832
三月	29	3.643	三月	31	3.763
四月	30	3.621	四月	27	3.729
五月	29	3.570	五月	27	3.644
六月	30	3.495	六月	29	3.661
七月	29	3.469	七月	26	3.657
八月	28	3.482	八月	27	3.606
九月	21	3.447	九月	24	3.556
十月	29	3.494	十月	27	3.584
十一月	25	3.549	十一月	30	3.668
十二月	27	3.509	十二月	31	3.575

上表ノ結果ハ第一圖ニ示スガ如シ、即チ鮎川及ビ三崎ニ於ケル海面一年中高低ノ趨向ハ粗ボ互ニ等シキヲ見ルベシ。次ノ第二表ハ第一表ヨリ構成セルモノニシテ一年中最低ノ水位ヲ他ノ月々ノ水位ヨリ減ジタル數ヲ與フ、又第三表ハ鮎川及ビ三崎ニ接近セル石ノ卷及ビ横須賀兩測候所ニ於ケル明治三十五年中ノ毎月平均氣壓ヲ與フ

第二表

海面ノ高さ (毎月平均ノ價値)

月	三崎 (ミリメートル)	鮎川 (ミリメートル)	平均 (ミリメートル)
一月	129	121	125
二月	0	0	0
三月	69	23	46
四月	103	45	74
五月	188	96	142
六月	171	171	171
七月	175	197	186
八月	226	184	205
九月	276	219	248
十月	248	172	210
十一月	164	117	141
十二月	257	157	207

第三表

明治三十五年中毎月平均氣壓

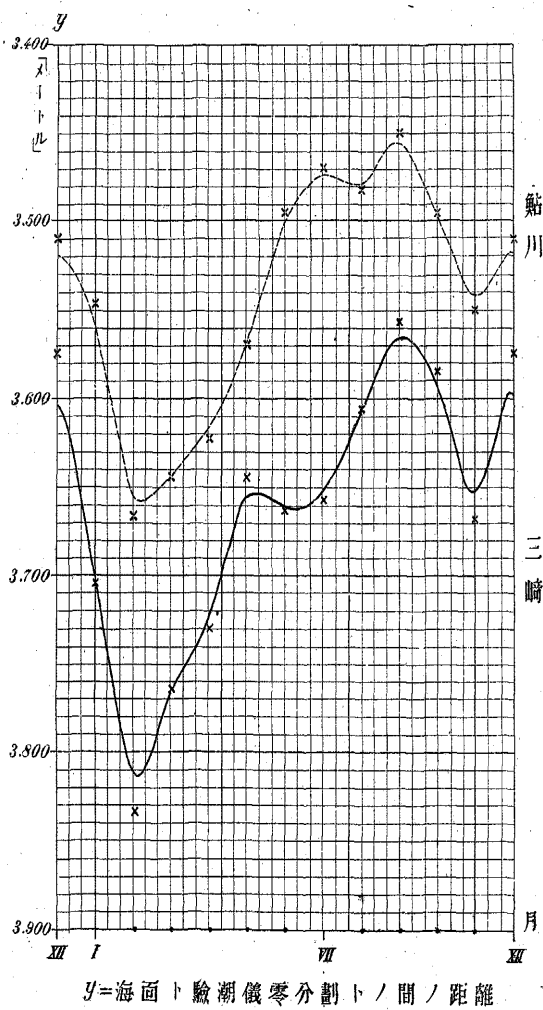
月	横須賀 (ミリメートル)	石ノ卷 (ミリメートル)	平均 (ミリメートル)
一月	761.7	760.9	761.3
二月	764.6	764.4	764.5
三月	762.1	762.3	762.2
四月	760.4	760.0	760.2
五月	759.3	759.5	759.4
六月	756.3	756.5	756.4
七月	756.0	756.3	756.2
八月	758.3	759.2	758.8
九月	758.2	759.1	758.7
十月	763.8	764.3	764.1
十一月	765.4	765.5	765.5
十二月	760.9	761.0	761.0

第二表及ビ第三表ノ結果ハ第二圖ニ示ス、即チ一年中ノ變化ニ於テハ海面ノ高低ト氣壓ノ増減スル時期トハ殆ド相反對ナリ、今マ氣壓毎月平均價値ノ一年中ノ増減ハ九三「ミリメートル」ニシテ水量ニ換算スレバ

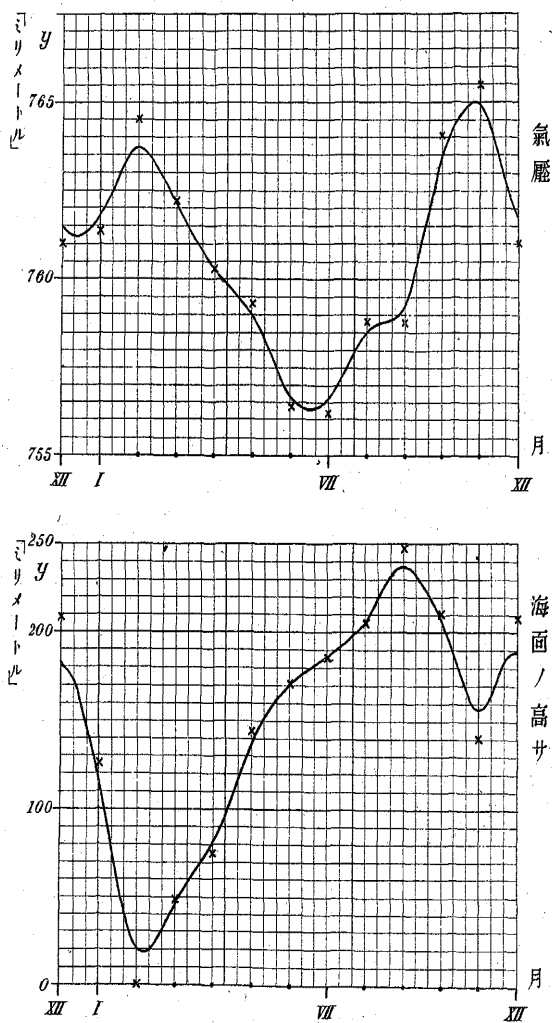
$$9.3 \times 13.6 = 126 \text{ ミリメートル}$$

百二十六「ミリメートル」トナル、然ルニ海面高低一年中ノ差ハ三崎ニテハ二百七十六「ミリメートル」、鮎川ニテハ二百十九「ミリメートル」ニシテ平均二百四十八「ミリメートル」ナレバ此等兩所ニテハ海水ノ増減ハ氣壓高低ノ二倍ニ當ルナ

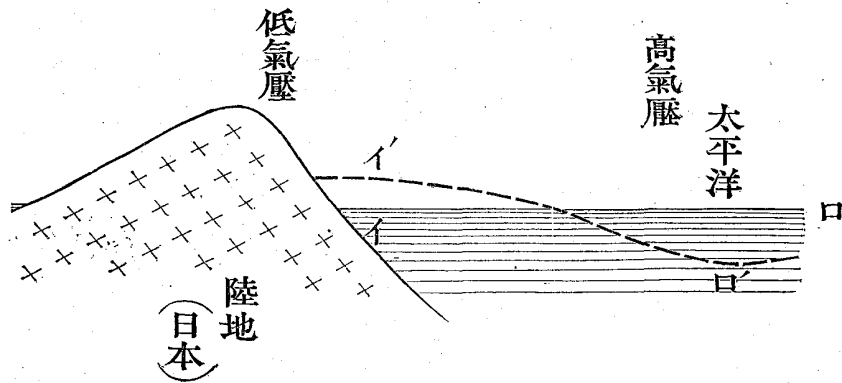
第一圖



第二圖



リ、換言スレバ海底ニ於ケル全體ノ壓力（氣壓ト水壓トヲ合セルモノ）ハ夏月ニ大ニシテ、二月、三月、四月ニ最少トナル、而シテ其ノ差ハ氣壓増減ノ量ト殆ド相等シ、本邦太平洋方面ノ他ノ場所ニテモ同様ノ現象ヲ呈スルナラント思ハル
 上記セル如ク海面ノ高サガ夏ニ増加スルハ日本及ビ附近ノ海上ニ於テハ夏季ニ氣壓ガ低下スルト、又同季ニハ最高氣壓ノ



中心ガ北太平洋「アリコーション」群島附近ニ存スルガ爲ナルベシ圖中（イロ）ヲ以テ海面平均ノ位置トセンニ高氣壓中心ノ處ニテハ海水低下シ、氣壓低下セル處ニテハ海水高昇スルヲ以テ海面ハ（イロ）ノ如キ曲面トナルベキナリ之ニ反シテ冬期ハ氣壓ガ陸地上ニ高キト、最低氣壓ノ中心ガ太平洋北部ニ存スルトニ由リテ、海水ハ（イロ）トハ正反對ノ曲面トナルベキナリ

震災豫防調査會報告第三十號ニ述ベタル如ク本邦東北部ヲ震動スル地震ガ夏季ニ最多ナルハ上記ノ如ク本邦東北部ニ於テハ海水ガ同季間ニ増加スルノ事實ニ依リテ説明スルヲ得ベシ、即チ此等ノ地震ノ多クハ海底ニ發スルモノナレバ其ノ最モ頻繁ナルハ海底ニ加ハル全壓力ノ最大ナル夏季ニアルベキナリ